

イエスの受洗と誘惑

洗礼者ヨハネ
先駆者ヨハネ

I. イエスの受洗

A) 荒野でバプテスマのヨハネによる宣教開始 イエスの受洗の約6か月前

マタイ3:1~6

そのころバプテスマのヨハネが現れ、ユダヤの荒野で教えを宣べ伝えて、「悔い改めなさい。**天の御国**が近づいたから」と言った。

この人は、預言者イザヤによって「荒野で叫ぶ者の声とする。『主の道を用意せよ。主の通られる道をまっすぐにせよ』」と言われた人である。

このヨハネはらくだの毛の衣をまとい、腰には皮の帯を締め、その食べ物はいなごと野蜜であった。

そのころ、エルサレム、ユダヤ全土、ヨルダン川周辺のすべての地域から、人々がヨハネのもとにやって来て、自分の罪を告白し、ヨルダン川で彼から**バプテスマ**を受けていた。

1. バプテスマ（洗礼、水の中に全身を入れる）

- ① ユダヤ教における洗礼・・・儀式的きよめや、異邦人がユダヤ教に改宗するとき。自分で、裸になって、洗礼槽や川、泉などで行う
- ② バプテスマのヨハネによる洗礼・・・「天の御国」が近いので、それに備えて、民族的な罪と個人的な罪を悔い改め、神に立ち返るといふ思いを表す。荒野で宣教するヨハネから、着衣のまま、荒野近くのヨルダン川で受ける（マタイ3:1~6）

2. 天の御国・・・メシア（「油注がれた者」の意味、ギリシア語では「キリスト」）が現れ、王となってイスラエルと全世界を治める。「神の国」とも呼ばれる。注意：聖書には、「神の国」は5つの意味をもつ

B) ヨハネに神からの事前告知（ヨハネ1:33）

私自身もこの方を知りませんでした。しかし、水でバプテスマを授けるようにと私を遣わした方が、私に言われました。「御霊が、ある人の上に降っ

て、その上にとどまるのをあなたが見たら、その人こそ、聖霊によってバプテスマを授ける者である。」

C) イエスの受洗 (マタイ 3:13~15)

1. ヨハネのところにイエスが来て、受洗を申し出た
2. ヨハネはイエスに初めて会ったが、霊的な聖さに圧倒されて、すぐにメシアになる人だとわかった。洗礼は、自分たちがメシアの到来に備え、罪を悔い改めて神に立ち返るためにしているのである。罪の無い方に洗礼は必要なしと思い、ヨハネはイエスの申し出にとまどった
3. イエスは受洗が必要であることをヨハネに告げ、ヨハネはイエスに洗礼を授けた (マタイ 3:15 直訳「すべての義を実現するために」)

- ① メシアの使命は、律法の義を成就するため (マタイ 5:17)
- ② その義を信じる者に与え、救う。そのために、メシアはイスラエルの民と一体化しておかねばならない。受洗により、メシアは罪人ではないが、罪人たちの仲間に入ってくくださったのである

神は、罪を知らない方を私たちのために罪とされました。それは、私たちがこの方において神の義となるためです。(II コリ 5:21)

D) 受洗の結果 (マタイ 3:16~17)・・・聖霊が鳩のように天から降ってイエスの上にとどまった。そして、天から神の声が響いた。

「これはわたしの愛する子。わたしはこれを喜ぶ」

1. 聖霊が降った (くだった) のは
 - ① メシアの使命を遂行するための油注ぎのため (使徒 10:38)
→ イエスは、このとき、メシア=油注がれた者となられた
 - ② ヨハネの証言のため (ヨハネ 1:32~34)
私はそれを見ました。それで、この方が神の子であると証しをしているのです。(34節)
2. 天からの声は・・・詩篇 2:7「あなたはわたしの子」、メシア預言である。神が、イエスをメシアであると、宣言した。

II. サタンによるイエスへの誘惑

A) 誘惑を受けるのは、神の計画のうちにあった（ルカ4：1～2）

さて、イエスは聖霊に満ちてヨルダンから帰られた。そして御霊によって荒野に導かれ、四十日間、悪魔の試みを受けられた。その間イエスは何も食べず、その期間が終わると空腹を覚えられた。

B) 誘惑を受ける目的（誘惑に勝って義人になるのではない、義人であることを証明するために誘惑を受ける）

1. イエスは受洗によりイスラエルの民と一体化し、イスラエルの民の代表となった。イエスがイスラエルの民の代表として義人であるのかどうか、が試される → 荒野で、40日間、申命記（契約書）からの引用
2. メシアの使命「すべての義を実現するため」と密接に関係する。イエスが義人であるのかどうか、が試される。→ 罪の3つの類型（Iヨハネ2：16 「肉の欲、目の欲、暮らし向きの自慢（プライド）」

C) 3つの誘惑 サタンの目的は十字架を回避させること

1. メシアなら、石をパンにかえて食べたらい
2. （世界の国々を見せておいて）サタンを拜むだけで王となればいい
3. 高いところから飛び降りてもメシアなら守られるはず、それを人々の前で見せたらいい

D) イエスの応答（ルカ4：3～12）

1. メシアとしての力を今ここでパンのために用いることはしない

そこで、悪魔はイエスに言った。「あなたが神の子なら、この石に、パンになるように命じなさい。」

イエスは悪魔に答えられた。「『人はパンだけで生きるのではない』と書いてある。」（ルカ4：3～4）

申命記 8：3 それで主はあなた（イスラエル民族）を苦しめ、飢えさせて、あなたも知らず、あなたの父祖たち（アブラハムたち）も知らなかったマナを食べさせてくださった。それは、人はパンだけで生きるの

はなく、人は主の御口から出るすべてのことばで生きるということ、あなたに分からせるためであった。

2. 神にのみ仕える（十字架を通してのみ、メシアは王権を受ける）

すると、悪魔はイエスを高いところに連れて行き、一瞬のうちに世界のすべての国々を見せて、こう言った。「このような、国々の権力と栄光をすべてあなたにあげよう。それは私に任されていて、だれでも私が望む人にあげるのだから。だから、もしあなたが私の前にひれ伏すなら、すべてがあなたのものとなる。」

イエスは悪魔に答えられた。「『あなたの神である主を礼拝しなさい。主にのみ仕えなさい』と書いてある。」（ルカ 4：5～8）

申命記 6：13～14 あなたの神、主を恐れ、主に仕えなさい。また御名によって誓いなさい。ほかの神々に、すなわち、あなたがたの周りにいる諸国の民の神々に従って行ってはならない。

3. 神を試すようなことはしない。神を信頼し、ゆだねる

また、悪魔はイエスをエルサレムに連れて行き、神殿の屋根の端に立たせて、こう言った。「あなたが神の子なら、ここから下に身を投げなさい。『神は、あなたのために御使いたちに命じて、あなたを守られる。彼らは、その両手にあなたをのせ、あなたの足が石に打ち当たらないようにする』と書いてあるから。」

するとイエスは答えられた。「『あなたの神である主を試みてはならない』と言われている。」（ルカ 4：9～12）

申命記 6：16 あなたがたがマサで行ったように、あなたがたの神である主を試みてはならない。

E) 悪魔はあらゆる試みを終わると、しばらくの間イエスから離れた（ルカ 4：13）